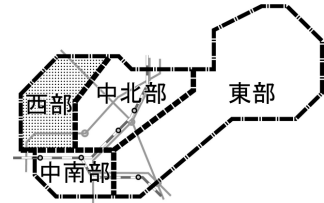


(1) 地域の特性と主要課題

1) 地域の特性

①位置・人口など

- ・西部地域は本市の西部に位置し、主に由良川右岸流域と犀川流域の地域です。
- ・由良川に沿って主要地方道舞鶴綾部福知山線、犀川に沿って主要地方道綾部大江宮津線が通り、沿道には集落と農地が形成され、周囲は森林に囲まれています。
- ・人口は約7千人で本市の約20%を占めていますが、減少傾向にあります。



区分	面積 (km ²)	人口 (人)				世帯数 (世帯) 平成22年		
		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年 (対全市構成比)			
豊里 市街化調整区域	25	4,738	4,803	4,466	4,162	11.6%	0.88	1,424
物部 市街化調整区域	17	2,148	2,008	1,847	1,688	4.7%	0.79	626
志賀郷 市街化調整区域	27	1,758	1,589	1,455	1,341	3.7%	0.76	559
合計	69	8,644	8,400	7,768	7,191	20.0%	0.83	2,609

②土地利用

- ・主に由良川右岸の主要地方道舞鶴綾部福知山線や犀川沿いの主要地方道綾部大江宮津線の沿道などに集落が形成されています。
- ・集落の周辺や河川沿いに農地が広がり、その周囲は、岳山（標高368.9m）など約200～300mの森林に囲まれています。

③都市施設

- ・主要地方道舞鶴綾部福知山線と主要地方道綾部大江宮津線が周辺都市や市街地と連絡し、一般府道や市道が集落間を連絡しています。
- ・街区公園の的場公園など3カ所の都市公園があります。
- ・農業集落排水を豊里東部地区、物部地区、物部東部地区、志賀郷地区に整備しています。
- ・その他主な都市施設
豊里駐在所、物部駐在所、地区公民館、里山交流研修センター、物部会館、栗文化センター、豊里小学校、物部小学校、志賀小学校、豊里中学校、何北中学校、京都府立農業大学校など

④その他

豊里地区に綾部ふれあい牧場と私市円山古墳があります。

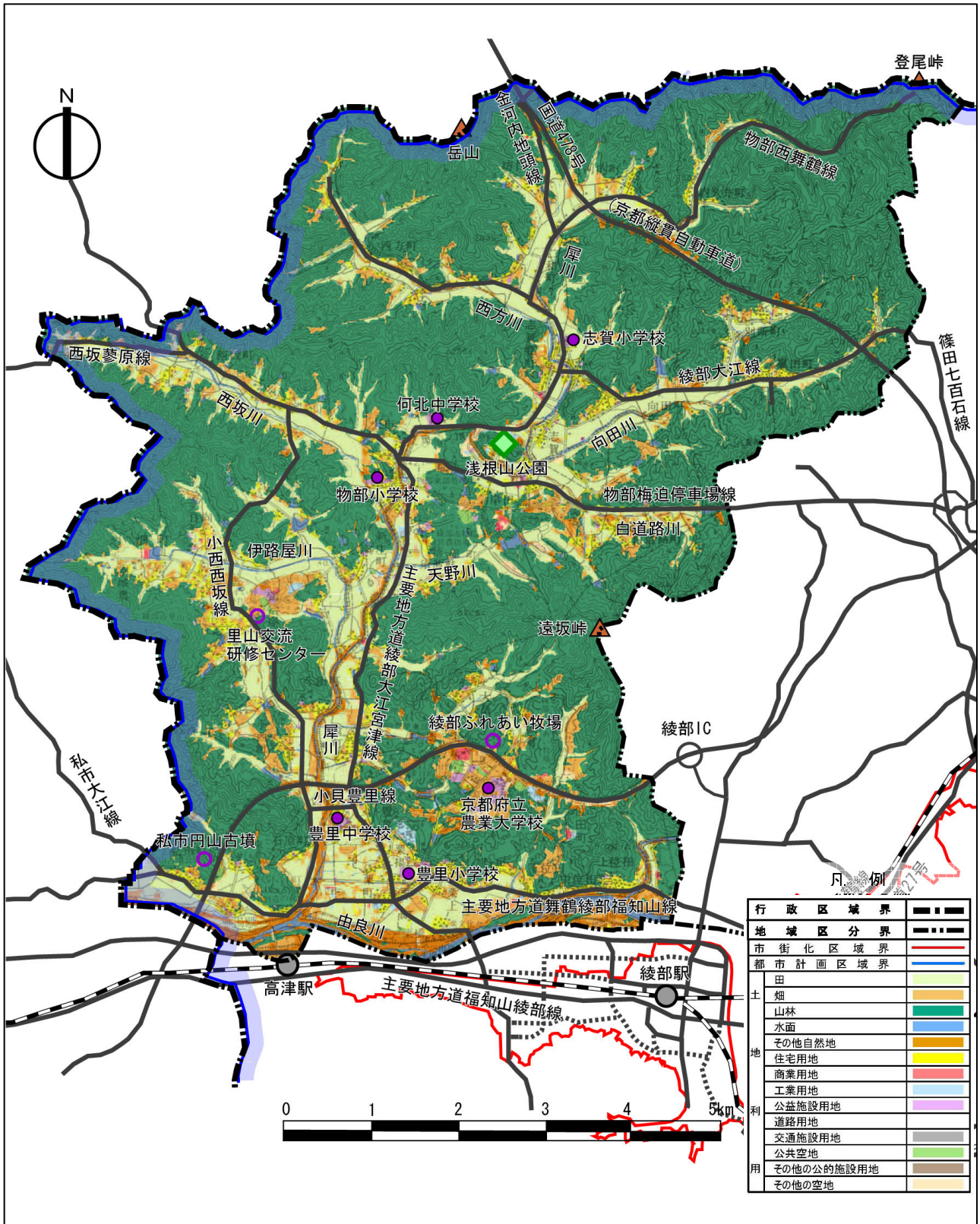


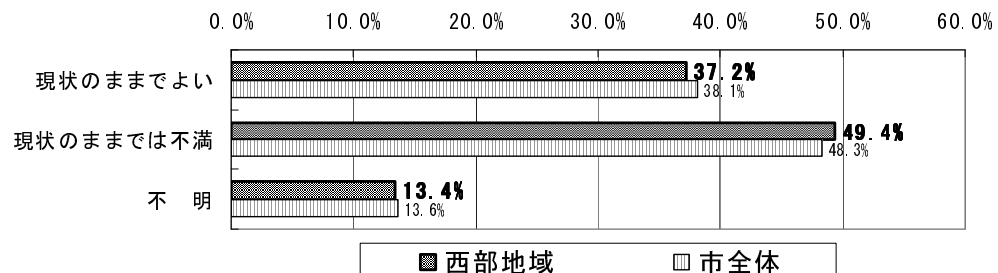
図 6 - 4 西部地域の現況図

2) 地域住民の意向

西部地域では、市民アンケート調査において164票の回答があり、主な住民意向は次のとおりです。

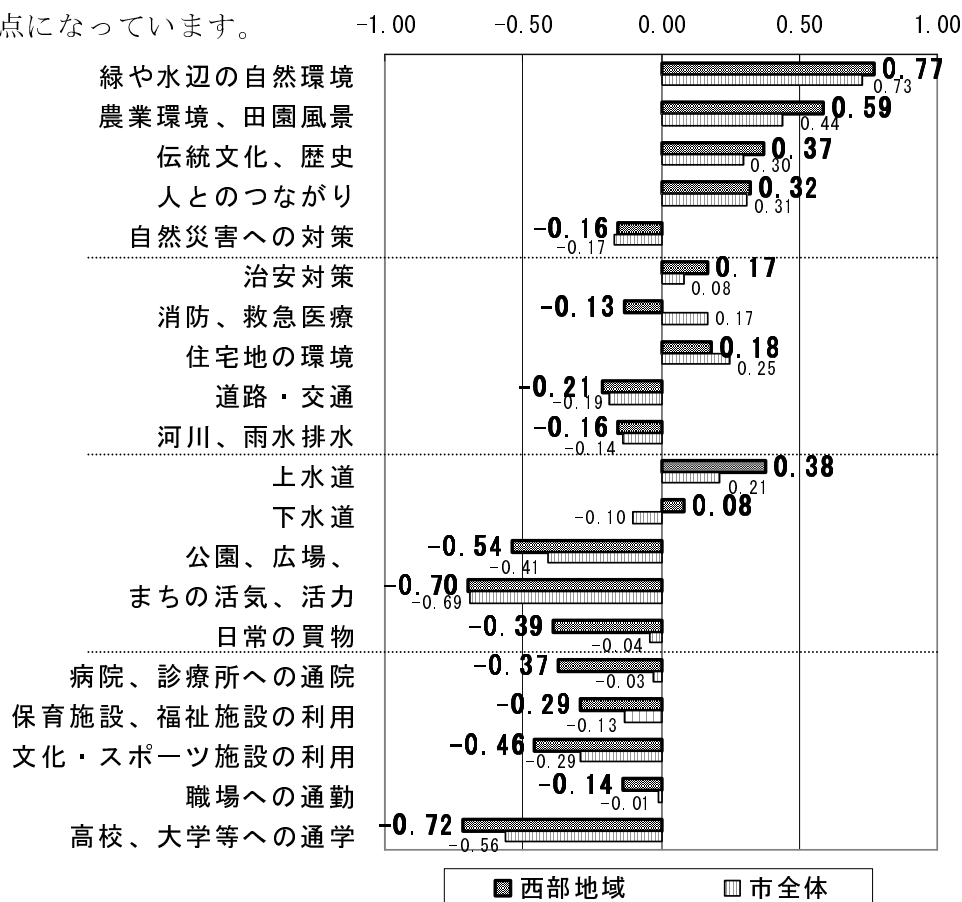
①居住している地域の現状の評価

「現状のままでよい」が37.2%、「現状のままでは不満」が49.4%になっています。



②居住している地域の環境の評価

評価点がプラス（満足）となっている項目は、「緑や水辺の自然環境」（0.77）を第1位として20項目中8項目になっています。一方、「道路・交通」「公園、広場」などの都市施設や「まちの活気、活力」「日常の買物」「病院、診療所への通勤」などの施設利用の利便性など、12項目についてはマイナス（不満足）の評価点になっています。



評価点の算定方法：「満足」：2点、「やや満足」：1点、「ふつう」：0点、「やや不満」：-1点、「不満」：-2点とし、合計点数を回答票数で序して平均点を算定しています。

3) 主要課題

現況や住民の意向を踏まえ、主要課題を次のとおり整理します。

■ 集落の活性化と便利で暮らしやすい環境の創出

人口減少や少子高齢化が進行する集落では、地域コミュニティや地域活力の低下など、集落の維持・存続に係る問題も発生してきています。

集落の活性化のため、地域の特性を活かしたまちづくりを進め、安全安心で、便利な暮らしやすい環境を創出し、定住化やUIターンを促進することが必要です。

■ 産業の振興及び雇用の確保

農業や林業は、人口減少や少子高齢化などにより担い手が不足してきており、荒廃する農地や森林は増加し、集落の産業振興に大きな影響を与えています。

集落の活性化や定住促進を図るため、地域の資源を有効に活かした地場産業の振興や都市交流などを推進し、新たな雇用に創出することが必要です。

■ 里山の豊かな自然環境の保全

地域内は、豊かな自然と農村で創出される美しい里山風景を望むことができます。美しい自然景観や里山景観を守り続けるため、森林や田園を良好に保全し、これらを有効に利活用することが必要です。

(2) 地域整備の基本方針

1) 整備目標

自然環境の豊かな里山、田園の集落で、自然、農業と共生しながら快適に暮らし、農林業や里山などの地域資源を有効に利活用した交流などにより、地域の活性化を目指します。

2) まちづくりの基本方針

①定住促進と地域コミュニティの充実

人口減少、少子高齢化が進行している集落において、住宅など都市的な土地利用を検討し、空き地、空き家の利活用や、UIターン、都市交流など、地域の活性化や居住環境の向上を図り、定住促進及び地域コミュニティの充実を推進します。

②日常生活を支援する商業・サービス機能などの立地

自然環境の豊かな里山、田園の集落において、自然環境や農業環境の保全を基本としつつ、日常生活を支援する商業・サービス施設などの立地を検討し、利便性の向上を図ります。

③道路、下水道などの都市施設の充実

幹線道路、集落間道路、集落内道路などを計画的に整備、維持補修を行うとともに、合併処理浄化槽による水洗化に努めるなど、都市施設の充実を図り、快適で便利な居住環境の充実を推進します。

④地域資源を活かした産業振興と雇用の創出

由良川、犀川や支流沿いに広がる農地や、周辺の森林を保全し、地域資源を活かした特産品・ブランド商品の開発や付加価値の高い生産、地産地消や六次産業化などを推進し、新たな雇用の創出や都市住民との交流を促進します。

⑤里山の自然環境の保全

由良川右岸流域と犀川流域の里山に広がる豊かな自然環境は、関係法令などを適正に適用して無秩序な開発行為などを規制し、自然環境や景観を保全します。

(3) まちづくりの整備方針

1) 土地利用方針

エリア	ゾーン	方針
里山田園生活エリア	里山田園集落ゾーン	自然環境や農業環境との調和を図りつつ、住宅や日常生活上必要な諸機能の土地利用を促進し、定住人口の安定化や増加を図ります。 優良農地の保全を図り、農業生産性の向上や農業経営の安定を図ります。
自然活用保全エリア	自然環境保全ゾーン	豊かな自然や良好な景観に配慮し、開発行為などを抑制して森林や河川などの保全や活用を図ります。

2) 主要な都市施設整備の方針

①道路、交通施設

- ・主要地方道綾部大江宮津線の歩道整備、主要地方道物部梅迫停車場線の交差点整備、一般府道物部西舞鶴線改良の改良整備を京都府等関係機関に働きかけます。
- ・生活道路となっている市道は、緊急性の高い路線から順次整備します。
- ・あやバスの安定的な運行の確保と利便性の向上を図ります。

②公園・緑地

- ・老朽化した公園施設の計画的な整備や改修を図ります。

③上下水道・河川

- ・上水道施設、設備の適切な維持管理に努めるとともに、更新や耐震化を推進します。
- ・小畑、白東簡易水道施設、設備の適切な維持管理に努めるとともに、上水道との経営統合を検討します。
- ・物部地区農業集落排水の計画的な整備を図ります。
- ・集合処理施設、設備の適切な維持管理に努めます。
- ・集合処理以外の地域では、合併処理浄化槽による水洗化を促進し、施設の適切な維持管理に努めます。
 - ・河川改修などの治水対策を関係機関とともに推進し、自然と人が共生できる水辺空間の創出を図ります。

3) 主要な住環境整備の方針

①計画的な土地利用と定住促進

- ・市街化区域及び市街化調整区域の区域区分を廃止する方向で検討します。
- ・市街化調整区域内における建築行為などの規制緩和を推進するとともに、地区計画の導入を検討します。

4) 主要な自然環境整備又は保全の方針

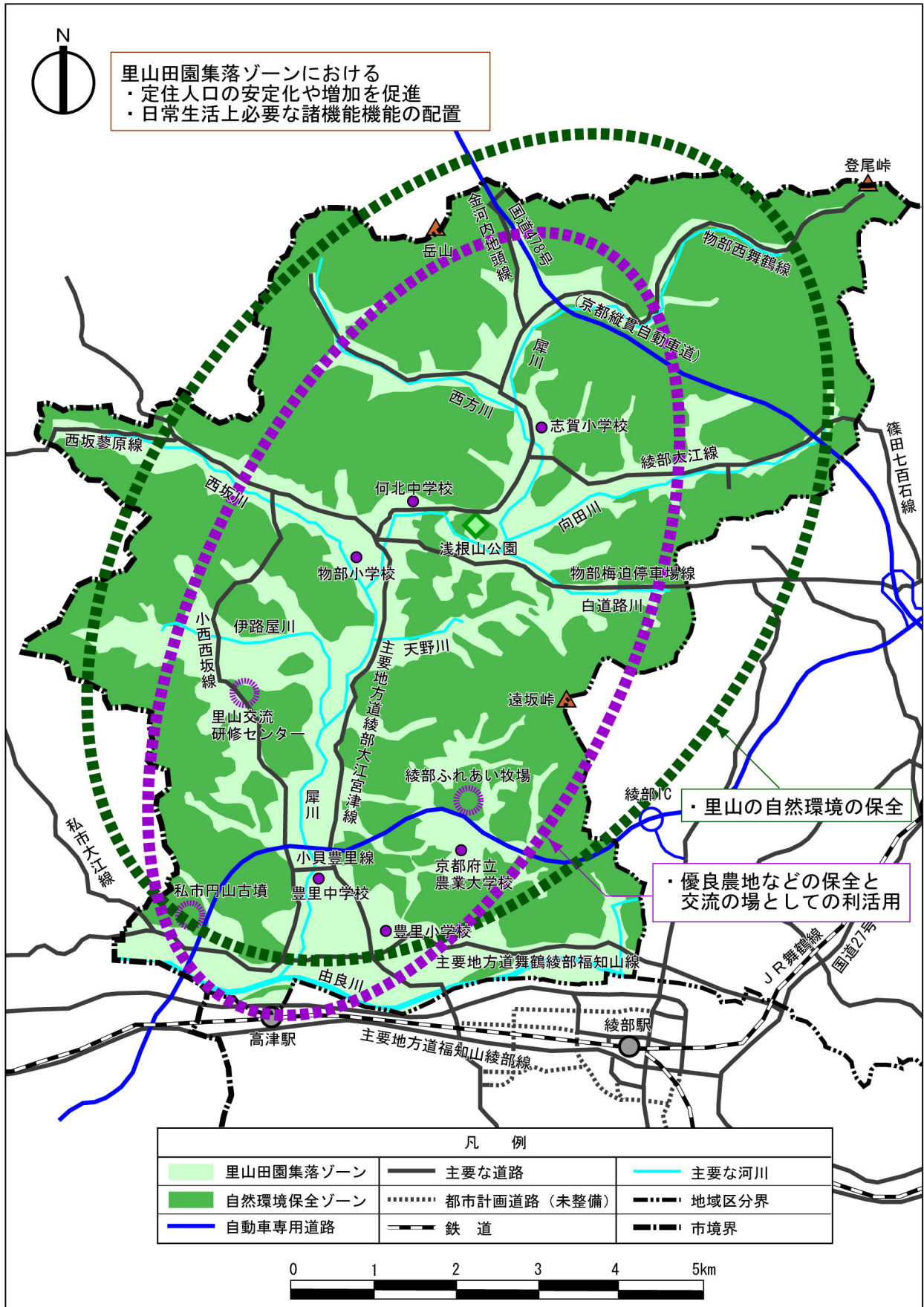
①市民との協働による自然環境の保全、活用

- ・市民や事業者と協働し、河川や水源林の保全を促進します。
- ・自然・文化・人々との交流を体験する「グリーンツーリズム」を誘導し、自然を活用した「都市と農山村との交流」を推進します。

5) 主要な景観形成の方針

①森林、田園の自然・田園景観の保全

- ・里山交流研修センター付近などの美しい自然景観と山々に囲まれた田園と農村集落で創出される里山景観を守り続けるため、保全や形成に努めます。



里山田園集落ゾーンにおける

- ・ 定住人口の安定化や増加を促進
- ・ 日常生活上必要な諸機能機能の配置

・ 里山の自然環境の保全

・ 優良農地などの保全と交流の場としての利活用

凡 例		
 里山田園集落ゾーン	 主要な道路	 主要な河川
 自然環境保全ゾーン	 都市計画道路 (未整備)	 地域区分界
 自動車専用道路	 鉄 道	 市境界



図 6 - 5 西部地域のまちづくり方針図